

平成27年度 岡崎保育園 事業報告

我が国の人口動態は、減少傾向にあり、少子高齢化の進展は、将来の不安材料として、福祉、保育関係だけでなく、社会全体に様々な影響や問題を提起しています。このような状況の中、子ども・子育て支援新制度が平成27年度4月から始まりました。また、消費税率の引き上げによる増収の一部が、新制度の財源に充てられることになり、社会や地域が要請する保育ニーズへの対応や、子育て支援への取り組みなど、保育機能や専門性の発揮が一層求められています。

これらの状況の中で、地域で身近な子育て支援の拠点として、「子どもの育ちを支える保育」を積極的に取り組んできました。湖西市は待機児童0人発表ですが、入園待ちの状況は変わりません。特に、低年齢児の産休明け、育休明けの仕事復帰のための入園が叶わない多くの人がいることを感じます。一時預かりも増えており、できるだけニーズの声に対応できるように、地域における子育て支援を湖西市と検討を重ねながら、子ども園への移行の様子をみていきたいと思えます。

入園児童数3月147名、年間平均充足率119.9%でした。職員数は、確保されており、新制度による経営状況の把握は、休日保育の補助金が、月の公定価格に含まれたため、月の活動収入は昨年度より多くなりました。しかし、全体の加算、補助金は減少しております。

また、主任、研修委員を中心に、危険予知トレーニングを取り入れ、リスクマネジメントの研修を職員の参画のもと、実施、園内研修の充実ができてきています。リーダーや中堅、組織役割の確立をはかりながら日々の保育に活かそうと取り組んでいる所です。

法人として	重点目標	事業報告
<p>1. 保育指針に沿った保育の実践 保育指針を十分に理解し、保育指針に沿った担当業務のあり方を把握したうえで実践し、振り返りを行う。</p> <p>各担当組織、職員個々が目標を持って行動し、担当組織や自分の担当業務の振り返りを行う。(目標による管理)</p> <p>子どもの安全を守るためにリスクマネージャーを養成し、リスクマネージャーから各職員への教育を徹底する。</p>	<p>①保育の過程を大切に、明日の保育につながる振り返りをして、保育の質を高め合う。</p>	<p>★一人ひとりの子どもの育ちを「できた」「できない」だけでとらえないで、その子の育ちや思いを振り返る、記録が記入できるようになる。</p> <p>・エピソード記述のグループワークの継続 保育の過程を大切にしながら子どもの思いに耳を傾け、保育実践や気づきとして、パート職員も含んだいろいろな職員から意見をもらい、学びの視野が広がってきた。</p> <p>★リスクマネージャーを中心としたリスク研修 危険予知トレーニングを園内研修のグループワークで行った。 ヒヤリハットの見直し→記入式から図に変更し、継続していく。</p> <p>★保育過程から、年齢発達を踏まえた一人ひとりの個人計画をもち、保育目標を意識した取り組みを行った。</p> <p>★遊びの環境を考える 手作り玩具 実践報告 ・園内研修で、中間発表 湖西市で食育活動を発表 ・保護者懇談会で、発表する。</p>
<p>2. 国、市の方針等の環境変化に応じた園の経営 国の「子ども・子育て新システム」、市の保育政策等への適合をはかる。 2016年度認定こども園となることを前提にして、その準備をする。 保育所担当行政をはじめ関係機関との連携を深める。 地域内にある福祉ニーズを探り、法人として地域社会に貢献する。</p>	<p>・新システム情報を共有していく。</p>	<p>★会議の充実をはかった。 ・会議研修等で得た情報は職員に啓蒙する。 ・職員会議や保護者への説明を計画的に行う。</p> <p>★地域周辺の状況や、定期的に湖西市との連携をはかり情報をもらう。 9/25 湖西市幼児教育課 理事長と訪問。 湖西市は、こども園には、消極的。幼稚園問題から小規模保育を望んでいる。</p>
<p>3. 保護者への積極的な子育て支援 保護者への支援、保護者との連携を強化する。 地域への子育て支援メニューを充実し、継続的に行う。 保護者も保育に参加し体験することにより、保育園への理解と保育内容の理解を深める。</p>	<p>②家庭連携と保育の見える化を実践につなげる。</p> <p>③子育て活動の充実と地域のつながりをもつ。</p> <p>・積極的な子育て相談を行う。 地域の育児力を高める役割を担う。</p>	<p>★保護者への発信。 ・掲示写真で様子をお知らせする。 ・保護者懇談会 ・お誕生会の茶話会をする、記録を職員で共有する。 ・保育参加会(6月 9月に自由参加) ・クラス参加会と懇談会</p> <p>★配慮する子どもの様子について保護者が相談する機会を設け、ケース会議につなげる。 ・個人面談と就学への継続支援</p> <p>★びよびよクラブの充実 ・栄養士の専門的相談を継続的に行う。</p>
<p>4. 保育環境の整備</p>	<p>・子どもの過ごしやすい環境を考</p>	<p>★0、1歳児の担当制少人数制保育の実施</p>

<p>子どもたちの安全と衛生的な環境を確保する。</p> <p>修繕や備品の購入は年次を追って計画的に進める。</p> <p>岡崎保育園の林の一部を整理し学童保育専用の園庭を整備する。</p>	<p>え、保育実践する。</p> <p>・たくさんの人と関わり生活体験をする。</p>	<p>★挨拶をみんなで積極的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやり保育の環境を整える。 <p>★地域交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会いきいきサロン ・お年寄りとの継続交流 ・お祭など地域行事への鼓隊参加 ・蛍の放流 ・畑体験 ・花を育てる小さな親切運動参加 <p>★幼稚園との交流</p> <p>★森の整備 → 広場になり活動しやすくなった</p>
<p>5. 働きやすい環境づくり、職員の確保・育成</p> <p>倫理性、組織性、専門性をもつ職員の育成を行う。</p> <p>新たな研修計画の策定</p> <p>パート職員も含めたOJTの強化、プリセプター方式による新人研修等。</p> <p>自ら学ぶ姿勢を支援する。</p> <p>〇〇の目的で人事交流を継続して行う。</p> <p>積極的な新規採用活動を実施する。</p>	<p>④職員一人ひとりの意識を高め、研修と役割、組織づくりをする。</p> <p>・みんなが意見を言える会議、研修を行う。</p>	<p>★松溪会・リーダー職員研修 6/26 6/27</p> <p>・中堅職員研修 8/8 9/5</p> <p>・チューター制度を積極的に進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市野与進保育園との情報交換 <p>★第三者評価受審により マニュアルの見直し</p> <p>★積極的な新人採用活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人職員からの情報交換 ・合同就職説明会 5/31 参加 ・実習生への働きかけ
<p>6. 経営の把握と無駄の排除</p> <p>経営状況を適切に把握し、中期事業計画を策定する。(人員と設備備品の予算根拠の明確化とその実行管理)</p> <p>管理部門は常に現在の経営状況を把握し、随時職員にも伝える。</p> <p>適正な経営を確保するために、無駄を排除する。</p> <p>両園の建物、設備の再生産のための費用の算定とその積立計画を検討する。</p>	<p>★節電、節約</p> <p>基本電圧を検討し、導入を試みたが、現状把握と職員周知にして、自分達ですべてできることから始める ようにした。</p> <p>★経営の把握(収入支出のバランス)しながら購入を考える。</p>	
<p>7. タイムリーな情報発信</p> <p>HPで随時新しい情報を提供し、保護者や地域社会、保育士就職希望者に情報を開示・発信、交流する。</p> <p>日頃の実践を保護者に伝える機会を持ち、保護者とともに保育を進める。(保護者向けの発表会やHP上にブログによる情報発信等)</p> <p>職員の末端に至るまで、必要な情報は、タイムリーに正しく流す。(月次決算、重要決定事項)</p>	<p>★第三者評価を受ける</p> <p>(第三者評価受審 11/18)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を見つけ、目標につなげる <p>★HP委員の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの様子をエピソードにして発信した。担当任せになり、時期が遅れがちだった。 ・ブログ更新は、クラスでみんなができるように、工夫していく必要がある。 	
<p>8. 環境を守る取り組み</p> <p>保育の中にも職員の行動にも環境問題を考えた対応をする。ものを大切にす。動物・植物を大切にす。</p>	<p>★環境係を中心に芝生の管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンバンク補助 ・運動会で、子ども大人がみんな裸足で参加 ・地域からチューリップの球根を貰いみんなで植えて生長を楽しんだ。 	
<p>9. 新しい地域貢献活動の実践</p> <p>「経営協力きづな基金」に参加する。保育に関係した地域貢献活動(例えば子どもの貧困対策等)に参加する方策を検討する。当面、岡崎保育園から実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・湖西市地域福祉課等行政との連携をはかるが、窓口からの反応は薄い。 	

<平成27年度 職員数> 3月末退職3名 新規採用3名 7月職員1名永眠 8月パート職員1名雇用

	園長	主任	保育士	栄養士	調理師	事務・業務	学童	
正規	1	1	15	1	1			19
非常勤			4		2		1	7
パート			4→3→4			3	4	11
合計	1	1	23	1	3	3	5	37

<平成27年度 事故報告> 1歳児1名 2歳児1名 3歳児4名 4歳児1名 5歳児1名 学童1名 計9件
 つまざき転倒3針縫合(3歳) ブランコ転倒擦り傷(5歳) 走って衝突打撲(4歳) 口内切傷(3歳)
 歯が抜ける(学童) 切り傷(2歳児) 鼻に石を入れる(3歳) アレルギー誤食(1歳) 打撲(3歳)

<平成27年度 意見苦情解決>
 苦情意見等はありませんでした。